

2013年12月4日(水)

愛媛新聞

高校生ものづくりコンテスト

理系男子全国で活躍

「木材加工」大野君(吉田) 3位

100分の1ミリのこだわり

木材加工部門は制限時間2時間半で図面を基に住宅屋根の一部を製作。木材に墨で寸法を書き、のみやのこぎり、かんなど加工して組み立てた。全国大会初出場の大野君。6月の四国大会優勝後、毎週月・土曜日に4時間半ずつ練習を重ねた。10分の1ミリ、100分の1ミリの誤差が組み立てに影響するため、解消できるよう努力。削りすぎ



木材加工部門で3位入賞した吉田高の大野君

るとやり直しがきかず、細心の注意を払った。大会ではプレッシャーのため今までで最悪の出来だったという。「諦めていたが入賞の瞬間、日々の努力が報われたと思いうれしかった」と笑顔。担当の井上寿夫実習助教諭(35)は「目標は3位以内だったので、達成できてほっとしている」と話した。大野君は農業分野への進学を希望。「卒業後も日曜大工などで木に携わっていきたい」という。

(藤田陽一郎)